

守谷市議会だより

発行／守谷市議会 茨城県守谷市大柏950-1
編集／守谷市議会事務局
TEL (0297) 45-1111(内線532) FAX (0297) 45-6528

URL <http://www.city.moriya.ibaraki.jp>
守谷市役所ホームページ内 守谷市議会
メール gikai@city.moriya.ibaraki.jp



土塔中央保育所：運動会

主な内容

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ・第3回定例会の概要 2ページ | ・一般質問 10～16ページ |
| ・審議結果一覧 3ページ | ・なるほど議会、議長日誌 17ページ |
| ・決算特別委員会審査状況 4～5ページ | ・中学生議会傍聴、第4回定例会日程 18ページ |
| ・各常任委員会審査状況 6～9ページ | |

平成17年

第3回定例会の概要

決算認定案件9件を審議、全て認定

社会科学学習として守谷中の生徒34名が一般質問を傍聴!!

第3回定例会を終えて

市議会議員 中田孝人

決算議会ともいわれる第

3回定例会では、決算認定案件9件を含む28議案と陳情1件を審議いたしました。なお、決算認定案件につきましては、決算特別委員会を定例会初日に設置し、3日間をかけ慎重かつ詳細な審査を行い、9案件とも全て認定されました。

また、今定例会では、議会改革の取り組みの一環として、昨年度の休日議会開催の取り組みに続きまして、将来の守谷市を担う子どもたちにも行政や議会の活動を伝え、興味を持っていただくため、中学校選択教科・社会科学学習として、守谷中学校生徒34名の議会傍聴を実施しました。生徒たちの感想も良好でありましたので、今後とも議会のより一層の活性化を進めて参りたいと思います。

今後とも皆様の信託にこたえられるよう全力で取り組んで参ります。

第3回定例会の概要

第3回定例会は、9月2

日から16日までの15日間の日程で開催され、初日に議案の上程、提案理由及び重点事項の説明、そして質疑委員会付託が行われた。5日、6日、7日には、決算特別委員会を開催し、8日、9日には、午前と午後に分け各常任委員会を開催した。13日、14日、15日には、3日をかけて14名の議員による一般質問が行われ、最終日の16日には、各常任委員長、決算特別委員長の報告の後、討論・採決が行われ、追加議案、議員提出議案の審議が行われた。

主な議案の内容

○報告第10号は地方自治法施行令第145条第2項の規定により一般会計継続費について議会に報告するものである。

○諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について

賛成多数

現人権擁護委員の石塚弘子氏の任期が12月31日をもって満了となるため、引き続き同氏を人権擁護委員として推薦するものである。

○議案第66号から第73号は、平成16年度の各会計歳入歳出決算認定を地方自治法第233条第2項の規定に基づき監査委員の審査を受け、同条第3項の規定に基づき提案するものである。

全て賛成多数

○議案第74号は、平成16年度水道事業会計決算を地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき監査委員の審査を受け、同条第4項の規定に基づき提案するものである。

賛成多数

○議案第75号 医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成

茨城県医療福祉対策実施要綱が改正されたため、守谷市でも同様に対象年齢の拡大等を行うものである。

○議案第77号 平成17年度一般会計補正予算(第2号)

全員賛成

今回の補正は、4億2913万6千円の増額と地方債の変更で、歳出の主なものは、人事異動に伴う人件費の組替えと総務費の財政管理総務費、民生費の医療福祉費、児童扶養手当支給事業費、土木費の道路補修経費、道路新設改良事業費、郷州沼崎線整備事業の増額、総務費の文化会館施設増築事業、民生費の市単独扶助分の医療福祉費、土木費の駅前公共施設整備事業費の減額である。

○議案第79号 平成17年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 全員賛成

今回の補正は、1億1196万6千円の減額で、歳出の主なものは、老人保健拠出金、介護納付金の減額と前年度療養給付費等国庫負担金の確定に伴う返還金の減額である。

○議案第80号 平成17年度老人保健特別会計補正予算(第1号) 全員賛成

今回の補正は、1億1054万9千円増額で、歳出

は平成16年度分医療費の精算による一般会計繰出金及び償還金の増額である。

○議案第81号 平成17年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 全員賛成

今回の補正は、2億1395万2千円の増額及び地方債の変更で、歳出の主なものは人事異動に伴う人件費の増額と区画整理事業進捗に伴う区画道路、上下水道工事の工事請負費及び家屋移転補償費の増額である。

○議案第83号 平成17年度公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号) 全員賛成

今回の補正は、4億2984万9千円の増額で、歳

出は平成9年度借入分コミ
ユニティ施設用地取得事業
債の繰上償還を行い、支払
利子を削減するため公債費
の増額をするものである。
○議案第87号 教育委員会
委員の任命について

賛成多数

現委員が任期満了となり
退職することに伴い、後任
の委員として渡邊好子氏を
任命するにあたり、地方教
育行政の組織及び運営に関
する法律第4条第1項の規
定に基づき提案するもので
ある。

○議案第76号 常総衛生組
合規約の一部を改正する規
約 賛成多数

○議案第88号 取手市地方
公平委員会規約の変更につ
いて 全員賛成

○議案第89号 常総地方広
域市町村圏事務組合規約の
一部を改正する規約 全員賛成

議案第76号、第88号及び
第89号は、市町村の合併に
伴う名称等の変更による改
正である。

第3回定例会審議結果一覧

議案番号	件名	議決結果
報告		
第10号	平成16年度守谷市一般会計継続費精算報告	—
諮問		
第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案		
第64号	専決処分事項の承認について	承認
第65号	専決処分事項の承認について	承認
第66号	平成16年度守谷市一般会計歳入歳出決算認定	認定
第67号	平成16年度守谷市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
第68号	平成16年度守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定
第69号	平成16年度守谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定	認定
第70号	平成16年度守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定
第71号	平成16年度守谷市守谷駅周辺一体型土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
第72号	平成16年度守谷市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
第73号	平成16年度守谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
第74号	平成16年度守谷市水道事業会計決算認定	認定
第75号	守谷市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第76号	常総衛生組合規約の一部を改正する規約	原案可決
第77号	平成17年度守谷市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
第78号	平成17年度守谷市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
第79号	平成17年度守谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第80号	平成17年度守谷市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第81号	平成17年度守谷市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第82号	平成17年度守谷市守谷駅周辺一体型土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第83号	平成17年度守谷市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第84号	平成17年度守谷市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第85号	平成17年度守谷市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
第86号	市道路線の認定について	原案可決
第87号	守谷市教育委員会委員の任命について	同意
第88号	取手地方公平委員会規約の変更について	原案可決
第89号	常総地方広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約	原案可決

請願・陳情

受理番号	件名	議決結果
平成17年		
第5号	「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」陳情書	採択

議員提出議案

議案番号	件名	議決結果
第5号	米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書	原案可決

決算特別委員会

平成16年度歳入歳出決算認定

守谷市歳入歳出決算(9会計)を3日間にわたり審査

決算特別委員会 委員長報告(要旨)

本特別委員会は、9月2日の本会議において設置され、平成16年度守谷市各会計歳入歳出決算認定9件が付託された。これらの案件を審査するため9月5日、6日、7日の3日間にわたり、全員協議会室において各部長、関係部署の職員の出席を求め、各部署ごとに詳細な説明を聴取し慎重な審査を行った。

議案の審査結果

- 議案第66号 平成16年度一般会計歳入歳出決算認定
- 議案第67号 平成16年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第68号 平成16年度国民健康保険特別会計歳出決算認定
- 議案第69号 平成16年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第70号 平成16年度介護保険特別会計歳入歳出

決算認定

- 議案第71号 平成16年度守谷駅周辺一体型土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第72号 平成16年度公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第73号 平成16年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第74号 平成16年度水道事業会計決算認定

全て賛成多数

主な指摘や要望等

各事業の効果と課題について

事業の効果と課題について十分協議し改善を行い必要なものは廃止すること。

電算委託契約について

電算委託業務は、いまだに一社特命契約であるが、今後は業務内容を十分精査し、委託料の額の検証を行い、経費削減の努力をすること。

公園の管理に関して

公園の維持管理費は年々増加傾向にある。一部町内会では公園管理について年間を通して受託しているとのことであり、公園管理を地元の住民にお願いするのもひとつの方法である。今後、地域に根ざした公園となるよう工夫するとともに維持管理経費の削減を検討すること。



プロムナード水路脇の公園

各税の滞納額の増加について

茨城県租税管理機構に徴収を委託し成果を上げていることは評価できるが、各税の滞納額や不納欠損額が増加している現状から自主

回収にも力を入れ、滞納額の減少に努めること。

自治会の加入について

自治会の未加入者が年々増加している。今後高齢化が進み地域で支えあつていかなければならない時に、未加入者が増加しては地域社会が成り立たない。未加入者にはペナルティーを設けるなど自治会への加入増進を図る方策を講じるとともに、自治会のあり方について住民を交え協議すること。

常総地方広域市町村圏事務組合の負担金に関して

圏内市町村の負担金割合がごみの排出量実績から見ても不均衡であることから、負担割合を実績を重視したものに改めるよう管理者会議等で働きかけること。

自転車駐輪場の管理に関して

つくばエクスプレスが開業し、新守谷駅前の駐輪場の利用者が減少している。維持管理費は変わらないため、今後の駐輪場の維持管

理のあり方について検討すること。



新守谷駅前の駐輪場

学校パソコンの活用に関して

市内小中学校に整備されたパソコンの活用状況が不明確であり、児童生徒がもっと自由にパソコンを活用できるようにし、パソコンの教育の指導に力を入れること。



学校のパソコン室

平成16年度決算審査意見書（審査の意見） 抜粋

（一般会計・特別会計・企業会計）

守谷市監査委員

【一般会計】

予算執行状況は、妥当と認められた。

実質収支額6億4,899万円を得たが、経常収支比率は89.8%を示し、財政の硬直化は進んでいる。市税は、調定額89億7,678万円で前年度と比べて2.7%増加しているものの、個人市民税を見ると不況と担税市民の老齢化により減少傾向に歯止めがきかない構造になっている。また、一般財源に寄与してきた地方交付税（普通交付税）も来年度は守谷市も不交付団体になると内示されている。

つくばエクスプレスが開業し、当市の更なる発展が期待される一方、環境整備に伴う支出も多額になることが想定されることから、将来を見据えたまちづくりと、少子高齢化が進み市民福祉のための資金の激増傾向を考えると、長期展望に立って市政執行に努められたい。また、新時代の基礎づくりに邁進し、更なる経常経費の削減と効率的な財政運営に努められたい。

一方、市税の収納状況を見ると不納欠損処分額は、3,460万円であり無視できない。収納率向上対策として収納推進室が創設されたことは評価できるが、当市として課税の公平を維持するため、今後行う滞納整理は、強制執行も考慮すべき段階と考える。

【公共下水道事業特別会計】

予算執行状況は、良好と認められた。

面整備も終わりに近づいたことと、特別会計から企業会計に移行することになり、今後は、維持管理費用の対応に迫られることとなるので、上下水道が一体化したことのメリットを発揮するよう対処されたい。

【国民健康保険特別会計】

予算執行状況は、良好と認められた。

保険給付費の増減は、市民の健康に左右されるものであることから、感染症の予防に努めるとともに、市民の健康に対する認識の啓発とその支援策の充実を進められたい。

【老人保健特別会計】

予算執行状況は、妥当と認められた。

当市の老齢化も進み医療費の増加が避けられない状況にありながら、本年度の医療給付費は、前年度比3,300万円減少したことは非常に喜ばしいことである。今後とも、老人の健康維持施策を充実されたい。

【介護保険特別会計】

予算執行状況は、妥当と認められた。

制度の普及と高齢化の進展に伴う利用人員と給付額の急増は社会問題となっており、その対応策が急がれている。

給付費が不足し財政安定化基金から借入れしている状況であり、要支援と要介護1の占める割合が大きくなっているため、この人たちが自立に向かうような施策を講じられたい。

【守谷駅周辺一体型土地区画整理事業特別会計】

予算の執行状況は、妥当と認められた。

この事業は、つくばエクスプレスの開業で、守谷市の玄関口としての象徴的な事業であり、将来を見据えた市民の夢にこたえるまちづくりを推進されたい。

【公共用地先行取得事業特別会計】

用地取得事業債の償還のみであり、意見は特になし。

【農業集落排水事業特別会計】

予算執行状況は、妥当と認められた。

【水道事業会計】

平成16年度の決算報告書に示された消費税込みでの収益的収入及び支出決算額は、収入で12億4,555万円、支出は11億26万円となった。なお、不納欠損処理については217万円を計上しているが、収納努力によって経常的な範囲として理解する。

次に、資本的収入及び支出決算額は、収入で1,698万円、支出は1億7,892万円である。

水道は、市民が日常生活を営む上で不可欠なものであり、市民生活を支える重要な基盤施設である。今後も給水人口の増加に合わせ給水量も増加するものと推測するところから、安定供給に欠かすことのできない水源の確保と水需要に即した新たな施設整備はもちろんのこと、自然災害に備えた危機管理を視野に入れ、既存施設及び設備の適切な更新と維持管理が必要であると考えます。

総務常任委員会

心肺停止状態の応急措置用として使用する 自動対外式除細動器(AED)を導入

当委員会に付託された案件は、議案第77号 平成17年度一般会計補正予算(第2号)の1件である。審査のため9月9日、午前10時から第1委員会室において、説明のため総務部長ほか関係職員の出席を求め、全委員出席のもと委員会を開催した。

議案の審査結果と 主な内容

○議案第77号 平成17年度一般会計補正予算(第2号)
全員賛成

議会事務局所管

人事異動に伴う職員給与関係経費の減額と2市2郡正副議長並びに委員長会の研修負担金14万4千円の増額補正である。

総務課所管

補正の主なものは、来庁者等が突然心肺停止状態となった場合に応急措置用として使用する自動対外式除細動器23台分の購入費90万5千7千円の増額補正で、本庁舎、出先機関、小中学

校等22か所に設置を予定している。

問 設置基準や国の補助はあるのか、また、つくばエクスプレス守谷駅等の人の集まる施設への設置が有効ではないか。

答 いずれも無い。設置については、つくばエクスプレス守谷駅等各施設への設置を働きかけたい。



導入される自動対外式除細動器(AED)

財政課所管

歳入の主なものは、平成17年度の交付額決定に伴う地方特例交付金2503万4千円の増額、平成17年度の普通交付税の算定において守谷市が不交付団体とな

ったことによる地方交付税1億340万円の減額、市有地5か所、約1148平方メートルを売却したため土地売却収入8411万円の増額補正である。

また、老人保健特別会計の一般会計からの繰出額の確定による繰入金1億964万3千円、同じく介護保険特別会計の繰入金1196万7千円の増額と今回の補正予算における財源余剰額を繰り入れる財政調整基金繰入金1億5221万3千円を減額補正するものである。

歳出の主なものは、庁舎敷地内の1台あたりの駐車スペースを広げるための庁舎施設維持管理経費120万円の増額、公共建築物の定期報告書作成及び建築物管理のため、公共建築施行管理指導員の雇用を5か月延長するための報酬100万円の増額、普通交付税における基準財政収入額の固定資産税のうち、償却資産の課税額が交付税決定後に

決定したためその増額分の修正があり、その修正分の返還金407万5千円を増額補正するものである。



市役所駐車場確保の検討を

問 普通交付税がなくなり経常一般財源が減少し、経常収支比率が上昇することが予想されるが、人件費・物件費等の見直しについて具体策はあるのか。

答 財政健全化計画の中で検討して行きたい。

問 駐車場スペース等について、今後の行政需要に対応するため、庁舎周辺用地の取得を検討するべきであると思うが。

答 緑地の保全を含め、駐

車場確保の検討をしたい。

税務課所管

税務課にあった収納グループを収納体制の強化を図るため、収納推進室として新たに組織替えし、1名増員となったことによる職員給与関係経費の増額補正である。

収納推進室所管

滞納整理事務に係るアルバイト賃金及び財産調査のための郵便料等の増額補正である。

問 収納推進室が組織され、現在の市民の反応や状況はどうか。

答 都市化の進展とともに滞納者及び滞納額が増える傾向にあったが、本年4月から収納推進室が設置され、収納率が前年と比較し向上している。

また、納税は国民の義務であり、負担の公平・公正を期する観点からも滞納の解消に向け、本年度から新たに差し押えも含めた滞納処分の強化を図って行きたい。

生活経済常任委員会

所管ごとに議案5件を審査 継続審査中の陳情を採択

当委員会に付託された案件は、議案第76号、議案第77号、議案第78号、議案第84号、議案第85号の5件と継続審査中の陳情1件である。これらの案件を審査するため、9月9日午後1時30分から第1委員会室において、全委員出席のもと、説明のため生活経済部長、上下水道事務所長ほか関係職員の出席を求め、委員会を開催した。

補助額の変更等で市の支出額が増額したため、増築工事を取り止めたことによる減額である。

歳出については、職員給与関係費で4月の人事異動に伴う増額、防犯対策費では交通指導車の回転灯グロームを赤色から青色に交換するための増額、文化会館費では学習室の増築工事取り止めによる減額補正である。

議案の審査結果と主な内容

○議案第76号 常総衛生組合規約の一部を改正する規約 賛成多数

水海道市が石下町を編入し、同時に名称を常総市と変更することから、規約を改正するものである。

○議案第77号 平成17年度一般会計補正予算(第2号)

全員賛成

くらしの支援課所管

歳入については、県支出金の文化会館整備事業費補助金の減額補正で、学習室の増築を予定していたが、

総合窓口課所管

歳出の職員給与関係経費の増額補正は、4月の人事異動に伴う人件費の組み替えによるものである。

生活環境課所管

歳出の職員給与関係経費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。

経済課所管

歳出の職員給与関係費の増額補正は、4月の人事異動に伴うものである。

農業委員会所管

歳出の職員給与関係費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。

○議案第78号 平成17年度公共下水道事業会計補正予算(第1号) 全員賛成

歳出の職員給与関係費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。

○議案第84号 平成17年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 全員賛成

歳入については、県支出金の文化会館整備事業費補助金の減額補正で、学習室の増築を予定していたが、

○議案第85号 平成17年度水道事業会計補正予算(第1号) 全員賛成

歳出の職員給与費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。修繕費の増額は、自家発電設備の整備内容精査に基づきオーバホールをとするものである。

全員賛成

平成16年度の決算額確定により、17年度の予算総額を変えずに、前年度繰越金を増額、一般会計からの繰入金を減額するものである。

な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める」陳情 全員賛成

米国内におけるBSE対策については問題点が多くあり、日本国民の食に対する安全や安心を確保する観点から、この問題に対し慎重な対応が必要であることから国では食品安全委員会において平成17年5月26日ブリーオン専門委員会調査・審議をすることを決定し、現在継続審議中である。この審議の中で、米国の飼料規制の実態やBSEの感染状況を把握するのに欠かさない検査データの不足が指摘されており、今後の米国の対応次第では、専門委員会の審議が更に遅れる可能性が高まっているとのことである。

○議案第85号 平成17年度水道事業会計補正予算(第1号) 全員賛成

全員賛成

歳出の職員給与費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。修繕費の増額は、自家発電設備の整備内容精査に基づきオーバホールをとするものである。

○議案第78号 平成17年度公共下水道事業会計補正予算(第1号) 全員賛成

歳出の職員給与関係費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。

○議案第84号 平成17年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 全員賛成

歳入については、県支出金の文化会館整備事業費補助金の減額補正で、学習室の増築を予定していたが、

○議案第85号 平成17年度水道事業会計補正予算(第1号) 全員賛成

歳出の職員給与費の減額補正は、4月の人事異動に伴うものである。修繕費の増額は、自家発電設備の整備内容精査に基づきオーバホールをとするものである。

全員賛成

陳情の審査

○継続審査中の陳情受理番号5 「米国産牛肉の拙速

に対する安全対策が確立されていないなど米国産牛肉の安全性の確保が難しいことから、より一層の安全性を確保するため採択すべきである。

文教福祉常任委員会

医療福祉費支給に関する条例の一部改正を可決

当委員会に付託された案件は、議案5件であり、審査のため9月8日、午前10時から第1委員会室において、説明のため教育長、教育部長、保健福祉部長ほか関係職員の出席を求め、委員会を開催した。

議案の審査結果と主な内容

○議案第75号 医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

茨城県医療福祉対策実施要綱が改正（平成17年11月1日施行）され、支給対象が3歳未満（当市は独自に3歳まで支給）から小学校就学前児童まで拡大されること、外来・入院時の一部と入院時食事療養費の自己負担を導入することに伴い条例を改正するものである。

問 外来と休日・夜間診療適用について伺いたい。また、改正に伴い医療費はどのくらい増額となるのか。

答 外来は回数で、休日・夜間診療についても助成さ

れ、医療費は全体で約3、800万円増となる。

○議案第77号 平成17年度一般会計補正予算（第2号）

全員賛成

学校教育課所管

補正の主なもの、子どもを守る110番の家の看板を作成するための増額、郷州小学校の門扉交換工事及び高野小学校の門扉を防犯のため新たに設置するための増額である

問 110番の家の看板は今までいくつぐらい設置したのか。

答 看板は、651件設置している。

意見 設置した後の効果を把握し、子どもたちの安全を確保してほしい。また、小学校の庁内LANを早急に整備してほしい。

指導室所管

補正の主なもの、中国から転入した生徒のための語学指導員の賃金等と、18年度に使用する社会科副読本を改定したための印刷製本費の増額である。

問 副読本は中央図書館にも置かれているのか。

答 部数は少ないが置いてある。また、インターネットでも見ることができる。

生涯学習課所管

職員の人事異動に伴う人件費の補正である。

中央図書館所管

職員の人事異動に伴う人件費の補正である。

学校給食センター所管

職員の人事異動に伴う人件費の補正である。

社会福祉課所管

補正の主なものは、戦没者等の遺族に特別弔慰金が支給されることになり、その請求に係る事務量増による時間外勤務の増額等である。

児童福祉課所管

補正の主なものは、児童扶養手当の受給者が増加したため、扶助費を増額するものである。

障害者福祉センター所管

職員の人事異動に伴う人件費の補正である。

保健センター所管

職員の人事異動に伴う人件費の補正である。

国保年金課所管

条例改正に伴う医療福祉制度の変更による医療福祉費の増額である。

介護福祉課所管

補正の主なものは、ゲートボール場返還による原状復帰工事費と地域生活支援事業及び新予防給付ケアマネジメントモデル事業に係る経費である。

○議案第79号 平成17年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 全員賛成

歳入は、前年度の事業が確定したことによる療養給付費等の交付金額等の増額と老人保健医療費等の減額補正である。

歳出は、老人保健医療費拠出金等の確定による減額補正である。

○議案第80号 平成17年度老人保健特別会計補正予算（第1号） 全員賛成

歳入は、前年度の医療費が確定したことによる交付

金や国・県負担金、一般会計繰出金の増額である。

歳出は、高額医療費の件数増等により事務処理量が増加したことによる職員の時間外手当の増額、また、前年度の老人医療費を精算したための一般会計繰出金の増額補正である。

○議案第81号 平成17年度介護保険特別会計補正予算（第1号） 全員賛成

歳入の主なものは、保険者機能強化特別対策事業費補助金、介護保険事業費補助金、介護報酬システム回収事業費補助金である。

歳出の主なものは、全国で89市町村が実施する第一次モデル事業を当市が行うため要介護認定モデル事業経費を増額するものである。

また、介護保険法改正により施設利用者に新たに自己負担が発生することから、補足給付として振り替えるため、保険給付費・施設介護サービス給付費を減額、特定入所者介護サービス費等を増額するものである。

建設常任委員会

郷州沼崎線の都市計画道路の変更が決定

当委員会に付託された案件は、議案第77号、議案第82号、議案第83号及び議案第86号の4件である。

これらの案件を審査するため、9月8日午後1時30分から第1委員会室において、都市整備部長ほか関係職員の出席を求め、全委員出席のもと委員会を開催した。

議案の審査結果と主な内容

○議案第77号 平成17年度一般会計補正予算（第2号）

賛成多数

建設課所管

都市計画道路守谷・伊奈・谷和原線の一部開通に伴う道路台帳補正業務107万1千円の増額、道路維持費1784万7千円の主なものは旧第一松ヶ丘地区の道路整備と本町上裏地区の排水整備のための増額、道路新設改良費4506万9千円の主なものは西板戸井地区、百合ヶ丘大原地区の排水整備工事と電柱移設に伴

う補償補填費用の増額及び郷州沼崎線の都市計画道路の変更が決定されたための工事詳細設計委託料1930万2千円の増額補正である。

問 道路補修費等工事請負費について、当初予算になかったものが今回補正増になった理由は何か、また、郷州沼崎線の線形の半径はどのくらいか。

答 市有地財産の売り払いができたことにより補正増が認められた。郷州沼崎線の半径は350メートルである。



都市計画道路変更が決定された郷州沼崎線

都市計画課所管

職員の人事異動に伴う職員手当の増額とつくばエクспレス開業に伴う各種イベントの実施や土地開発公社による守谷東特定土地区画整理事業区域内の保留地の販売に伴う時間外勤務手当の増額等都市計画総務費の補正である。



守谷東特定土地区画整理事業区域内の保留地

守谷駅周辺区画整理事務所所管

バスシェルター等工事の契約額確定による減額補正である。

問 契約額の確定による減額の内容はどのようなもの

か。

答 見積りの再精査を行ったことと入札差金が生じたことによる減額である。



守谷駅西口のバスシェルター

○議案第82号 平成17年度守谷駅周辺一休型土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）

賛成多数

区画整理事業の進捗に伴う区画道路工事及び家屋移転補償費2億1395万2千円の増額補正である。



開発の進む西友楽市南側

○議案第83号 平成17年度公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）

賛成多数

一般会計の財源を利用し線土償還を行い、支払利子の削減を図るための補正で、歳入歳出それぞれ4億2984万9千円の増額である。

○議案第86号 市道路線の認定について

全員賛成

松ヶ丘小学校脇の開発に伴う1路線と西友楽市南側の開発に伴う7路線を新たに市道として認定するものである。

一般質問

(要旨)

執行部答弁者

市長	会田 真一	教育部長	弘澤 廣	保健福祉部次長	茂呂 茂
教育長	北村 裕信	都市整備部長	橋本 孝夫	都市整備部次長	笠見 吉代
総務部長	下村 文男	上下水道事務所長	染谷 精一	保健福祉部参事補	松丸美恵子
生活経済部長	石塚 秀春	総務部次長	笠川 悦範		
保健福祉部長	山本 キヨ	生活経済部次長	寺田 功一		

グラウンドをもっと市民に

唐木田 幸司 議員

唐木田 現在、市では36のスポーツ少年団や協会が加盟し、市のスポーツ施設を利用している。また、各種イベントも毎週のように土・日に予定されており、グラウンドや体育施設の利用が多く、一般の方の予約が難しい。ある日の常総運動公園には、138台の車が駐車していたが、土浦ナンバーは99台で、水戸、野田、多摩、大宮、習志野、足立、千葉ナンバー車等が39台駐車していた。つまり守谷市に住民税を払っていない人が、4割も守谷の施設を利用している。今はパソコンでどこからでも簡単に予約の申し込みができて便利になったが、同時に市外からも簡単に申し込める。予約が遅れたためだけで、税金を払っている市民が、

空きグラウンドを紹介しており、現在、混乱はないが、今後市外の人があまりに多く利用するような場合には提案を検討したい。

福祉施設建設が止まっている理由

唐木田 平成16年に常総広域圏で、総額22億円の障害者福祉施設建設用地を1億円で先行取得した。しかし、国も財政が厳しく、予定していた国庫補助金が交付されず、資金計画が狂い建設がストップしている。抜本的な計画の変更をするとか、次の一手を考えないと先行

取得した1億円の土地が無駄になる。予測が困難な時代において将来の計画は、過去の単純な延長線上にはありえないと思うが。

市長 土地の用意がないと補助金は交付されないため1億円で先行取得したが、国庫補助金が付かないため、現在、規模を縮小するとか、建設についても民設でできないかなど、民営でやっていたところにも話をしている。

障害を持つ方々が待っている施設なので、できる限り進めていきたい。

TX新時代の「新たなビジョン」を問う

川又 昭宏 議員

TX新時代の特色ある学校づくりについて

川又 TXが開業し市は広域的に開かれたが、市の開かれた学校づくりの現状は、教育長 TX開業を見据え各学校が工夫し、家庭や地

域社会に信頼される学校づくりを進めている。

川又 開かれた学校も市の教育の特色であると思うが、ゆとり教育の中でどの様に特色ある教育を進めていくのか課題を含め伺いたい。

教育長

地域に根ざして特色ある教育をいかに推進していくかが大きな課題であり、ゆとりの中で人間教育を基本とし、確かな学力の定着を目指す教育を進める。

川又 今後、TX新時代に生き抜く力を確かに付けるため特色ある教育が大切であるが、取り組みと方針は、教育長 校長のリーダーシップを基に積極的に進める。

市長 教育は最重要課題であり、長所を伸ばす教育が必要である。

市の将来的ビジョンづくりについて

川又 TX開業後、調度良い時期に市総合計画の後期計画を策定することは、当面単独で市行政を続ける我が市において大変意義があるが、見直し項目等を伺う。

総務部次長 市民アンケートも踏まえ、TXも考慮し計画づくりを進めたい。

市市民活動や整合性ある市の開発計画策定を望む。また、集中改革プランの取り組みについて伺いたい。

総務部次長 各部署で細かい内容を調査し、取り組みの目標値を定め計画を策定し、今ある行革実施計画も考慮し計画を進めたい。

川又 受け身ではない強い決意と民間視点を入れた形での行革推進が望まれるが、市長 全庁挙げて行革を行い、事務事業評価は民間の意見も入れ最終判断したい。

予算編成について

川又 TX開業後初の予算編成時期になったが、施策別予算配分に対して重要な意義を持つ行政評価の取り組みを伺いたい。

総務部次長 昨年は96事業を評価し公表したが、本年度は一次評価が完了し、今後重点施策を決定し経営方針を打ち出す。

川又 市民ニーズ反映には

総合計画のためのアンケートも利用できる。TXに関連した予算方針になるのか。
総務部長 現時点で大まかな予算規模が分からないが、駅前の区画整理事業もありTXに関連した予算づけに

建設費1億2千万円の守谷駅自転車駐車場について

土田 敦司 議員

土田 契約内容等を徹底的に見直し、月額利用料金を低くできないか。

生活経済部次長 工事は(財)自転車駐車場整備センターが入札執行しており減額は無理であり、今後は業務費の経費削減と利用率も考え契約期間を見直したい。

アスベスト問題について

土田 アスベスト含有の施設において暴露したと思われる市民の数は何人か。今後の具体的な対応は。

総務部長 アスベストの吹き付けがあったのは守谷中の旧校舎で、昭和38年から昭和63年に撤去されるまでに6800人が過ごした。

もなる。土地売却は、まず土地利用を十分検討し、指定管理者制度は、18年度から実施を検証している。
市長 方針は未決定だが教育が一番大事であり、力を入れたい。

ロックウール等の吹き付けが確認されている公的施設は、学びの里の浄化槽室、黒内小学校の視聴覚室、大野小学校、上下水道事務所などで、国の指導を尊重しながら市としての対応を行っていききたい。

土田 速やかに各種関連情報をHPや広報紙を通じて行つてほしい。

所得制限の撤廃について

土田 守谷市医療福祉制度における所得制限の撤廃等を財政健全化計画等でも検討して頂きたいかがか。
保健福祉部次長 今後、策定する「後期総合計画」の検討事項としたい。

自動対外式除細動器(AED)の導入について

土田 TX守谷駅にAEDを配備することは可能か。

総務部長 首都圏新都市鉄道路株式会社に働きかけをしていきたい。

土田 市民を対象にAED操作を含む救命講習を行つてほしい。

新型インフルエンザ予防体制の確立について

土田 新型インフルエンザが発生した場合、国内医療機関を受診する患者数は約一千七百万人と推計、教育委員会と保健福祉部は連携体制を確立してほしい。
保健福祉部長 教育委員会と保健福祉部は情報共有化に努め、各小中学校や保育

所との連携体制の確立を進めたい。

生ごみの堆肥化について

土田 今後の生ごみの堆肥化に関する対応は。

生活経済部長 生ごみの分別収集方法や出来上がった堆肥の活用方法等について常総地方広域市町村圏事務組合等と協議を進める。

予防接種法に関する政令改正後の対応について

土田 法改正のため来年4月以降、麻疹風疹混合ワクチン定期接種の対象外者への救済措置は。

保健福祉部長 未接種者には個人通知を出すなど、来年4月1日時点で漏れ者が出ないよう対策を行う。

みずき野の景観形成に景観法は？

尾崎 靖男 議員

尾崎 みずき野郵便局の角は県道と市道が交錯し、維持管理に問題がある。一本の道路として条例の中で景観重要公共施設として指定することが出来るか。また、都市整備部次長 道路を景

観地区に関する景観法上の規定で、景観重要公共施設として景観計画に定めることは可能であるが、街路樹等の維持管理は含まれていない。墓地については、景観地区の都市計画決定が可能であるが市内が対象であり、取手市に協力を要請していくという形になる。

尾崎 景観法は新しい法律であり、国交省に景観室が10月に開設されると聞いている。条例化にあたり市民の意向を十分に聞き、同じ景観行政団体の県と協議を願う。

不交付団体として今後の取り組み

尾崎 今年度、守谷市は地方交付税の不交付団体として内定された。今後の取り組み、それとバランスシート指標分析の世代間の負担について「後世代の負担」は31・2%だが、この合理性について伺う。

総務部長 後世代の負担比率は、約8ポイント他の自治体に比べ数値が低い。こ

の数値が低いということは、社会資本の整備が進んでいると捉えていた。だいて結構かと思う。それから、財源確保についても、普通財産、土地の売り払いということ、歳入を補っていききたいと考えている。

尾崎 「守谷市監査条例」を策定し、会議録の整備、外部監査を条例にプラスするべきではないか。

総務部長 住民監査請求もあり、現状では外部監査の導入は考えていない。条例については、今後の検討課題であると考えている。

尾崎 香川県の坂出市は資産を将来どう有効利用している。坂出市は人口5万7千人で、平成14年から市長の方針として「透明性と公平性」ということから「外部監査契約に基づく条例」を制定し、包括外部監査を実行している。内部だけのチェックではなく、大きな視点から外部による監査を行い、それを市民に公表す

ることが求められている。

常総広域組合の情報公開

尾崎 常総広域の情報公開
条例が、まだ未制定である

が、制定はいつになるのか。
市長 常総広域、火葬場組合、衛生組合等で足並みをそろえ、早急にやるよう指示をする。

脱法ドラックから子ども達を守れ

川名 敏子 議員

川名 脱法ドラックを子ども達が気付かずに使ってしまう危険性が高まっている。近隣の現状とTX守谷駅の防犯対策、薬物乱用防止教育の実施状況はどうか。

教育部長 小学4年生からと中学2年生を中心に毎年、防止教室を開催している。

広がるアスベスト不安について

川名 公共施設を調査をし、早急に改善することを望む。

生活経済部次長 取手警察署によると今年の覚せい剤

検挙者は、女子の中学生・高校生各1人、成人が5人で、TXの開業により都心

が近くなり、薬物の犯罪が起こりやすい状況にある。

7月24日から市では28団体の協力により駅周辺の防犯

パトロールを毎日実施しており、警察とも連携し薬物

犯罪の防止に努めたい。

保健福祉部長 小中高生の

ヤングボランティアと一緒に街頭キャンペーンを是非

TXの駅前で実施したい。

弱者に優しいまちづくり

川名 聴覚障害の方への支援策として手話バッジ制度の創設を望む。市の手話講習会を終了し、サークルで常に研鑽しながらボランテ

イア活動を続けている人に登録していただき「手話ボランティア」のバッジを授与することはどうか。

保健福祉部長 現在、手話

奉仕員の養成講習会を入門と基礎過程として、2か年

継続で実施している。修了者は県の養成講習を受講し、

障害を持つ方への雇用施策

梅木 伸治 議員

就労の場所を作るため、軽作業のある会社や工場を誘致する等の考えはあるのか。

保健福祉部長 8月24日からTXの自由通路清掃の委託をしている。障害を持つ方が就労につけるよう今後とも努力を重ねていきたい。

男女共同参画推進計画の取り組み

川名 意識向上を図るための企画やリーフレットの作成は進んでいるのか。

生活経済部次長 広報やホームページに掲載する。また、リーフレット作成も進め、10月15日の学習会や1

月19日のフォーラムの情報も発信する。

梅木 昨今の経済状態は、健全者でさえ仕事が無いという環境にある。障害を持つ方は、更に苦慮していると察するが、障害を持つ方を雇用している企業の数を市は把握しているか。

総務部長 市内のみの状況

再生資源物を生ごみとともに処分

梅木 庁舎から発生する文書（紙類）の処分をどのように行っているのか。また、年間の発生量はどのくらいあるのか。

総務部長 年間約5000キロで、常総環境センターで焼却処分している。

植栽が歩行者の危険を高める

梅木 宅内から歩道にはみ出した植栽について、非常に危険であると思うことがしばしばある。緑の保護は良いが、特に子供たちの通学路や車両の通行が多く歩道の狭い場所は、命がけという場面もある。行政に委ねることかとも思うが、近隣でなかなか言い出せない事情も理解できる。市とし

ては、まず広報活動や目に余るものは個別に注意してはどうか。

新駅周辺 公共用地を駐車上等への有効活用について

酒井 弘仁 議員

有効な公共物の再利用について

酒井 TX新時代における行政運営は、例えば駅の駐車場対策等、時として市民の意向に沿った早目の対策も肝要であり、新たな感覚の行政執行が望まれる。その様な視点から、まず市の不用公共物の処理について伺いたい。

総務部長 現状では売却が可能な物は売却処分し、劣化が激しい物は、環境センターで廃棄処分している。公用車は、下取りを含め入札を行っている状況である。酒井 常総広域事務組合消防本部の消防車両の再利用について伺いたい。市消防団が広域の消防車両の再利用を希望しているが、市の対応はどうか。

総務部長 今回の15年使用

総務部長 広報紙を利用し

PRすると共に、道路パトロールの時に直接お願いする。

酒井 弘仁 議員

したタンク車の入替えにおける再利用の検討であるが、古い部品等の調達・整備などの経済面と、分団で2台の車両を操作する負担を第一に考慮し、払い下げの必要はないと判断した。

酒井 古い方のタンク車両も役立つというとの団からの話がある。今後も団員の意見を聞きながら団活動の支援をお願いする。また、今後の市の公共物リサイクルの対応について伺いたい。

総務部長 リサイクルできる物は十分に検討し、売却することも含め工夫して極力経費を抑えていきたい。

公共建物(施設・新駅)の耐震等の取り組み

酒井 近年各地で大きな地震が発生し、災害の不安を感じているが、市の公共建築物における耐震対策の現状は

どうか。

総務部長 学校は小学校2校を除き完了している。その他昭和56年6月以前建築の4つの建物についても対応を検討する。

酒井 今後とも市公共建物について、予算・スケジュール等を組み耐震対策をお願いする。また、不測事態が発生した場合、市は避難施設・場所を含め、どのような対策を考えているのか。

総務部長 市は危機管理方イドラインを作成しており、まず、各課、各部で対応し最終的に全庁的な危機管理

TX開業に伴う道路の安全対策を

市川 和代 議員

体制をとるシステムがある。また、各部に危機管理者を配置し常に管理をしている。酒井 新駅の地震対策を伺いたい。駅エレベーター等の対応や誘導訓練の実施、更に安全面での避難場所(公共用地の有効利用を含め、時間貸しの駐車場を設置し、これを一時避難所にする。)設置の対策はどうか。

都市整備部長 新駅の4か所の出入口は不測時の非難口に有効であり、エレベーター等の対策も実施している。時間貸し駐車場の設置は検討中である。

市川 都市軸道路の開通や駅へのアクセスで、新たな渋滞や交通体系の変化がある。百合ヶ丘二丁目の交差点と県道に連動した信号を付けられないか。また、軸道の歩道の照明はいつごろ付くのか。

都市整備部長 運動、点滅信号等、県警というる協

には付くが、今後必要であれば調査をしたい。

市川 ペDESTリアンデッキを通り駅に向う利用者からの要望が多いため、是非付けて欲しい。

県道野田牛久線の歩道の完成はいつか

市川 昨年も質問させていたのだが、一日も早く歩道を完成させ、安全で安心して通行できる歩道にしたい。TX開業に伴う道路整備で、だいぶ歩道ができてきたが、常総橋手前と新聞販売店付近は歩道がなく、非常に危険である。県への更に強い働きかけにより早期の完成を望む。

都市整備部長 今年度、クレトイシ交差点から郷州沼崎線までの用地買収に着手する。水田部から常総橋まで境界確認測量を実施すると聞いている。

市川 予算が付き次第進められるのか。

都市整備部長 引き続き重点的に取り組むと聞いているので、18年度も予算が付

くと思う。



常総橋付近の県道

サバ飯、サバ袋を各家庭に普及させよう

市川 災害時に、支援物資が届くまでの自助努力が必要であると思う。災害初期の対応として、アルミ缶や牛乳パックを利用して簡単にご飯を炊くことができる(サバイバル飯Ⅱサバ飯)や最低必用なものを持ち出す防災袋(サバ袋)などの作り方を実際に行い、防災意識の向上を、また、自力非難困難者の対応も訓練するべきであると思うが。

総務部長 ひとつの方法として考えたい。また、自力非難困難者の対応は、個人情報との関係もあるが市民相

互に支援活動ができること

も大事である。

なぜ、市の第2期介護保険事業は赤字なのか？

山田 清美 議員

山田 第2期介護保険事業

計画期間で約2400万円の赤字運営となっているが、

茨城県で守谷市の介護保険料は2番目に高い（標準月額2971円）のになぜ赤字なのか、原因は何なのか。

来年の4月の第3期介護保険事業計画を立てるとき、保険料の設定は市民にだけ負担を求めるのではなく、予防介護などの政策を十分に取り入れた事業計画にしてほしい。

保健福祉部参事補 第2期

介護保険事業計画の分析をすると、介護保険料は65歳以上の高齢者推計人口が計画より少なく、保険料が見込みより入らなかったことによるものである。

給付費は、利用者数、利用者1人当たりのサービス利用限度額の比率が見込みよりも多く、推計以上の保険給付が発生し、誤差が生

じたものである。

要因は、基盤整備が整い事業が広く定着してきたことにより、居宅サービスが利用しやすい環境になったことが、給付費が増えた要因と考えられる。

第3期事業計画を今策定中であるが、このような状況を踏まえて、適正な介護保険料設定に努めていきたい。

水道施設のアスベスト管は安全か！

山田 市内の水道施設にア

スベスト「石綿」セメント管はどの程度存在するのか、市では安全性についてどのような見解をもっているのか、また、今後どのように対応していくのか。

上下水道事務所長 昭和46年に簡易水道事業に着手し、昭和59年までの間、石綿管を使用していた。

地区の石綿管の延長は、

約36キロあり、安全性については、今年7月13日の厚生労働省の通達によると、管内を通過した水中のアスベストの量は、問題となるレベルではないとの見解である。

また、石綿管は、地震に對して弱い材質であるため、今後、整備計画を立て順次整備していく。

2007年問題の対応は！

山田 団塊の世代が2007年から次々と一斉に定年

民力活用でサービスの向上を

松丸 修久 議員

松丸 公でないといけない

部分を一度洗い直さなければいけないと思うが、民間で対応可能な業務の洗い出しは今の段階ではどうか。

総務部長 各担当において業務あるいは施設の中で民間対応可能なものはどのようなものがあるか、指定管理者制度の導入を見据えた中での抽出を現在準備中であり、近日中に実施してい

を迎えるが、市政の運営にどんな影響が想定されるのか。

また、豊富な知識や経験を生かす上で、退職後ににおける地域での活躍の場を提供できないか。

総務部次長 団塊の世代の人が次々と定年退職することにより、どのような影響が出てくるのかは、まだ、試算をしていない。地域での活躍の場の提供についても今の段階では考えていない。

きたい。

松丸 指定管理者制度の目的は、市民サービスの向上であるが、導入に向けた検証はしているか。

総務部長 来年度からの指定管理者制度を導入するためには、条例の制定あるいは改正等が必要になってくるが、詳細について事前打ち合わせをする時間が少ない。

知恵を絞った予算編成を

松丸 基本的に、これから予算編成に向けてプライマリバランスを考えざるを得ない。しかし、一方で

は経常収支比率がかなり高くなり、財政的に非常に硬直化してきており、自由に使える予算がかなり詰まってくる。来年度の予算編成に向けて、市民のニーズという観点をどうするのか。

総務部長 7月の施策の重要度・満足度の市民アンケート調査による結果を重要視し、行政評価に基づいた経営方針による優先度を考慮し、来年度の予算編成に当たる。

松丸 アンケート結果の中で、市民が望んでいることは何か。

総務部次長 今回のアンケート調査結果の傾向で意識が高いものは、まず防犯対策である。次は大体横並びになるが、保健福祉分野、道路整備、公共交通網の整備、それと上下水道の整備

というインフラ整備である。次に防災、消防、救急救助という分野、次に健全な行財政運営という傾向が見られる。

構造改革特区で独自の街づくりを

松丸 6月に申請した構造改革特区の内容は。

都市整備部次長 財源の確保、市民の雇用機会の増大を目的とし、構造改革特区で開発許可の面積要件を緩和し、企業立地が容易にできるような申請をした。

松丸 これからは、自主財源の確保が重要である。今回、都市整備部関係で構造改革特区という一つの改革に値するような申請をされたことは、非常に意味のあることだと思う。これからほかの各部署においても構造改革特区をぜひ勉強し、守谷独自の街づくりを推進していくためにも、どんどん申請をしていっていただきたい。

30人学級実現と学校の安全対策を

佐藤 弘子 議員

佐藤 今、子供たちを取り巻く環境は非常に厳しく、子ども一人ひとりが大切にされる環境づくりが急がれているのではないだろうか。ゆとりある教育、小・中学校での少人数学級、30人学級の実現について市の考えを伺う。

教育長 現状では県の施策として、通常の配置とは別に、状況に応じて多くの教員を配置する加配という手だてをしているが、まだ、30人学級に向けた方向には至っていない。

佐藤 学校の安全対策や警備について「受付員」の配置を提案する。子どもたちの下校時のパトロールを父母やボランティアの協力を得て行っているが、中には強制的な地域もあると聞いている。子どもたちはこの街の将来を担う宝であり、安全安心に対する工夫が必要ではないか。また、ワン

チャンパトロールもひとつのアイデアであると思う。

教育次長 学校は学童保育避難場所にもなっているの鍵をかけないで地域に開放している。学校サポートチームを中心にパトロールを実施しており、今後も地域の皆様の協力をいただき、地域の目で子供たちを守って行きたいと考えている。

守谷駅駐輪場について

佐藤 TX守谷駅の自転車駐輪場の「料金が低い」と住民の声があるが、値下げは可能か。(財)自転車駐車場整備センターの役員には天

下り官僚が名を連ねており、癒着の温床になってはいけない。今後、この財団の事業収支報告やその監査等の資料の提示を求めたい。
生活経済部次長 今の料金設定により12年間で償還する前提になっており、税金からの補填はできない。

資料等の提示については協議している。

学童保育の利用について

佐藤 学童保育の土曜日開所の問題は、たびたび話してきたが、現在、子ども一人あたり4000円のおやつ代等が徴収されている。市の予算・決算に計上し、公金としての扱いをしない理由について伺いたい。また、今後の学童保育の市の考えを明らかにしてほしい。

介護保険制度改定の問題点について

長江 章 議員

保健福祉部次長 土曜日の開所はやらない方向である。毎日おやつを買いに行くのに予算で歳入歳出をするのは難しく、非能率的である。今後、保護者の方たちに管理をしていただく方策もあるのではないかとと思う。また、学童372名を預かっており、市内小学校の18パーセントの児童に3900万円のお金がかかるのは不公平であると捉え、受益者負担としていく方向である。

長江 この改編で、第1号被保険者の保険料の区分が現行の5段階から6段階に改められる。守谷市では、現行の第2段階から新第3段階へと171人の方が移行する。この新第3段階の方の保険料額及び新第5段階以上の方の保険料額は、どれくらいを想定しているのか2点伺いたい。
保健福祉部参事補 来年の4月から新しい保険料にな

という年金受給額を超えるような負担を強いられる。その負担に耐えられない場合は、施設から在宅へ戻らざるを得ない。また、通所サービスにおいても食費を自己負担化し、利用を抑制することは、在宅高齢者の食事の保障を乏しくするだけでなく、外出の機会や入浴の機会も減るなど、身体

の清潔をはじめ高齢者の健康にも影響が出ることが予想される。

これらの問題は、自治体責任による解決、これは緊急の課題であると思う。金の切れ目が介護の切れ目とならないようにするため、守谷市の対応について伺いたい。
保健福祉部参事補 税制改正の影響により、利用者負担段階が2段階上昇する方もある。そういう方については、段階の上昇を1段階にとどめるとか、段階の上昇が1段階だけ上がる方については、保険料と同じく社会福祉法人の減免により

対応することを検討している。

石綿管の布設替えについて

長江 石綿管が布設されている距離が約36キロ、布設替えの事業費が約25億円ということであった。

この布設替えには、国庫補助がいくつあると認識しているが、守谷市において該当する国庫補助事業があるのかどうか、さらに布設替えに要する財源の確保、その方策について伺いたい。

上下水道事務所長 厚生労働省の国庫補助制度に、石綿セメント更新事業と管路近代化事業がある。

おのおの補助採択要件があり、給水人口と資本単価など合致しない部分がある。今後、財政面においては、関係機関と協議しながら進めていきたい。

守谷市の地下には震度6以上の地震の果がある

伯耆田 富夫 議員

市民参加の防災訓練を

伯耆田 今年、市役所で開催された防災週間の展示物で「地震調査研究推進本部」が作成したパネルの中に「地下に推定されるプレート」

が展示された。プレートは守谷市直下の深さ約40キロの位置にあることが明らかとなり、守谷は地盤がよいため近隣の市町村より震度が少ないと言われるが、地下に大きな発生源があることを認識しなければいけない。防災に関する備品やパネルの展示は、機会があるごとに、意識の高揚のためにも必要である。そして、参加者が毎回少ない防災訓練も行政から仕掛けた訓練を通り一遍にするのではなく、その町内会に適した自助、共助に趣を変え、行政が公助をすることはいいかがか。

生活経済部長 地域におけ



10月に行われた守谷市消防操法大会

女性消防団の結成

伯耆田 消防団には女性の団員がいない。火を消すこ

とや火災後の後始末よりも火災防災の啓蒙活動や防犯活動、大会などの庶務、災害弱者となる高齢者宅の訪問など幅は広く、女性分団の結成を検討してはどうか。

総務部長 そういった形の活動をお願いするべく結成を考えている。団長を始め幹部の皆さんに協議をいただき、結成する方向で進めたい。

斜面緑地は市民の財産

伯耆田 斜面林、屋敷林は守谷の宝である。自然環境

の保護の観点からも市民の公園、TX沿線の緑を緑のトンネルとして残してほしい。

アスベストの2次災害を防ごう

平野 寿朗 議員

平野 アスベスト公害が国民に大きな不安をもたらしている。このアスベストの危険性は30年前から分かっている。17年前から国は使

用していない。この点から見ると国の責任が重いと思うがどうか。

市長 確かに国の責任は重いと思う。情報公開と言いつながら国の情報がわれわれに伝わってこない。

平野 今後、解体などで飛

市長 どのようにお金の工面ができるかを検討し、市民の財産として市の所有にしていきたい。

伯耆田 事業が遅れている供平板戸井線の共用開始を待つのなら現在の取手、豊岡線の滝下橋を含めた整備が先ではないのか。

都市整備部次長 供平板戸井線の共用開始を期待することは厳しい状況であり、改良工事を進めるなど県に要望して行く。

なぜ、南足柄市との協定か

平野 今、日本で地震が1番危険視されているのは、

東海と東南海、さらに南海のいずれかと3か所が同時に連動することであり、もうひとつは首都圏の直下型の地震である。南足柄市と防災協定を結んだが、南足柄市は先に述べたいずれにも入り、危険性が非常に高い。また、東京という首都圏をはさみ問題が多い中、なぜ南足柄市を防災協定の相手に選んだのか。

市長 南足柄市長が小千谷市に行き、周りからの応援で助かったことを聞き、また、たまたま守谷市と南足柄市にはアサヒビール工場があり、南足柄市からは非協定を結びたいとのこと



昨年の防災訓練の様子

あった。なお、災害に限らず南足柄市の方でもいろいろな交流をしていきたいという話であり、今後その点についても考えたい。

平野 協定の内容について、例えば「人命の救助」まで入っているが、無理があると思われる。新潟中越地震を見ても自衛隊だけで10万人を超える人が救助に行っており、近くの県からも消防隊などプロの方も多く救援に向かっている。自治体間の協定であるので、家が壊れたことを調べる罹災証明であるとか、心のケアのようなこと等、実現可能な協定にするべきであると思うがどうか。

総務部長 罹災証明の件は指摘のとおりで、協定の詳しい内容を南足柄市と詰め、罹災証明については実施したい。そのためには職員員の訓練、研修等を行い、守谷市でも災害が起きたときに活用できるようにしたい。

なるほど議会

◆今回は委員会の構成等
についてお話しします

○常任委員会

本会議ですべての議案をきめ細かく審議することは効率的ではないため、いくつかの専門的な委員会に分かれて本会議で付託された議案等の審査を行います。

守谷市議会には、市の執行機関の所管別に下記の4つの常任委員会が設置され、全議員がいずれかひとつの委員会の委員となっており、委員の任期は2年で、各委員会にはそれぞれ委員長と副委員長があり、所管する部局の案件の審査や事業などについて、調査・研究を行うなどさまざまな活動を行っています。

○議会運営委員会

議会運営委員会では、市議会の運営上のさまざまな問題について話し合われており、市議会に関する条例等の議案や請願・陳情などの審査も行っています。

特別委員会名	人数	目 的	常任委員会名	人数	所管事項
利根左岸対策特別委員会	9人	利根左岸の有効な土地利用を図るため	総務常任委員会	5人	総務部及び会計課の所管に属する事項、他の委員会に属しない事項
まちづくり対策特別委員会	10人	つくばエクスプレス開業に伴う拠点整備と地域活性化促進及び市長村合併の動向の調査検討を図るため	生活経済常任委員会	5人	生活経済部、農業委員会及び上下水道事務所の所管に属する事項
乙子立交差建設対策特別委員会	8人	乙子立交差の早期完成の推進を図るため	文教福祉常任委員会	5人	保健福祉部及び教育委員会の所管に属する事項
			建設常任委員会	5人	都市整備部の所管に属する事項

○特別委員会

特別委員会は、特定の問題の調査や審査を行うために、必要に応じて市議会の議決によって設置される委員会です。

守谷市議会には、現在、市の長年の懸案や重要な問題を審査するため、上記の3つの特別委員会が設置されています。

また、このほかに当初予算、決算の審査を行うため、それぞれ予算特別委員会（3月定例会）並びに決算特別委員会（9月定例会）を毎年設置し、審査を行うのが通例となっています。



議長日誌

（7月～9月）

7月			1日・取手・守谷・北相馬地域医療協議会総会（取手市）	9日・全員協議会	5日・常総線快速列車運行記念セレモニー（下館駅）
7日～8日			・総務常任委員会視察研修 （御殿場市・小田原市）	12日・つくばエクスプレス等守谷・伊奈・谷和原連絡協議会総会 （谷和原村）	・つくばスタイルフェスタ2005プレイベント（みらい平駅）
9日・新生守谷中学校感謝の会			10日・第17回芸能大会	17日・都市軸道路開通式典	・アサヒビアガーデンオーブニング式典
12日・守谷市外1市1ヶ村湛水防除協議会監査・総会			22日・新大利根橋有料道路早期無料化要望・県の説明	・つくばエクスプレスと守谷市の未来絵画コンクール表彰式	・国際姉妹都市ウエルカムパーティー
25日・農業委員会定例総会			26日・つくばエクスプレス等守谷・伊奈・谷和原連絡協議会総会・研修会（みらい平駅）	19日・農業委員会小委員会	25日・農業委員会定例総会
27日・愛知県三好町市制検討特別委員会視察来庁			28日・つくばエクスプレス行政関係者試乗会	20日・故郷ふれあい祭り	26日・議会運営委員会
8月			3日・新大利根橋有料道路早	21日・叙勲授賞祝賀会	27日・きらめき守谷夢彩都フェスタ2005
24日・つくばエクスプレス守谷駅開駅式典			25日・つくばエクスプレス発車式並びにしゅん功開業式 （秋葉原、浅草）	22日・つくばエクスプレス	28日・国際姉妹都市フェアウエルパーティー
26日・農業委員会定例総会			27日・つくばエクスプレス	20日・故郷ふれあい祭り	
28日・つくばエクスプレス			29日・つくばエクスプレス	21日・叙勲授賞祝賀会	
30日・つくばエクスプレス			31日・つくばエクスプレス	22日・つくばエクスプレス	
9月			1日・つくばエクスプレス	23日・つくばエクスプレス	
2日・16日			3日・つくばエクスプレス	24日・つくばエクスプレス	
9日・総務常任委員会			10日・つくばエクスプレス	25日・つくばエクスプレス	
10日・中学校体育祭			11日・つくばエクスプレス	26日・つくばエクスプレス	
11日・つくばエクスプレス			12日・つくばエクスプレス	27日・つくばエクスプレス	
12日・つくばエクスプレス			13日・つくばエクスプレス	28日・つくばエクスプレス	
13日・つくばエクスプレス			14日・つくばエクスプレス	29日・つくばエクスプレス	
14日・つくばエクスプレス			15日・つくばエクスプレス	30日・つくばエクスプレス	
15日・つくばエクスプレス			16日・つくばエクスプレス	31日・つくばエクスプレス	
16日・つくばエクスプレス			17日・つくばエクスプレス		
17日・つくばエクスプレス			18日・つくばエクスプレス		
18日・つくばエクスプレス			19日・つくばエクスプレス		
19日・つくばエクスプレス			20日・つくばエクスプレス		
20日・つくばエクスプレス			21日・つくばエクスプレス		
21日・つくばエクスプレス			22日・つくばエクスプレス		
22日・つくばエクスプレス			23日・つくばエクスプレス		
23日・つくばエクスプレス			24日・つくばエクスプレス		
24日・つくばエクスプレス			25日・つくばエクスプレス		
25日・つくばエクスプレス			26日・つくばエクスプレス		
26日・つくばエクスプレス			27日・つくばエクスプレス		
27日・つくばエクスプレス			28日・つくばエクスプレス		
28日・つくばエクスプレス			29日・つくばエクスプレス		
29日・つくばエクスプレス			30日・つくばエクスプレス		
30日・つくばエクスプレス			31日・つくばエクスプレス		

第3回定例会において、

昨年度に開催された休日議会に続きまして、議会改革の一環として、将来の守谷市を担う子どもたちにも行政や議会の活動を伝え、行政や議会の活動に興味を持ってもらおうと市議会の提案により、選択教科・社会科学習として守谷中学校の生徒34名が、定例会の一般質問を傍聴しました。

当日は、議員も市内のグラウンドの利用やつくばエクスプレス開業に伴う新時代の特色ある学校づくり等について一般質問を行いました。生徒たちは、約1時間間にわたり、議員の質問と執行部の答弁を真剣に聞き入っていました。

後日、生徒たちから傍聴して感じたことについて感想文をいただきましたが、内容としては「議場の雰囲気は圧倒された」「国会が小さくなったような感じた」



中学生一般質問傍聴の様子

「市民のために真剣に話し合っていると感じた」「議員の資料の多いのに驚いた」などの感想が寄せられましたが、なかには「難しくてあまり理解ができなかった」などの感想もありました。また、「今後、守谷市のためにできることがあれば参加したい」「今後は積極的に政治に参加しようと思った」など非常に前向きな意見もありました。

第4回(12月)定例会の日程

会期日程				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
本会議				1	2					3	4	5	6
告示日				議案上程 提案理由説明 重点事項説明	原案に対する 対案の質疑	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	市政に関する 一般質問	市政に関する 一般質問	市政に関する 一般質問	委員長報告 質疑・討論 採決
7	6	5	4	3	2	1	○常任委員会は委員の間で日程を調整し、委員長が招集します。 ○市政に関する一般質問は、通告制をとっていますので、1日で終了することもあります。 ○本会議、各委員会とも傍聴ができます。 ○土・日・祝日は休会となります。						

*上記の表は標準的な日程であり、正式な日程については議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されます。

※次回の定例会の開催は12月初旬を予定しています。

庁舎1階ロビーのテレビで、本会議の様子を放映します。

■議会の傍聴をしましょう!!

議会（定例会・臨時会・各委員会）は、だれでも傍聴することができます。傍聴は傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢等を記入していただくだけで、難しい手続きはありません。

■本会議の傍聴

・本会議の傍聴の受付は、市役所議会棟3階の傍聴席入口前に受付簿を用意してありますので、各自記入し、傍聴券（当日限り有効）をもらい入場してください。また、交付された入場券は退場の際に返却してください。

・傍聴席は53席あり、先着順に着席していただきます。満席になった場合は、庁舎1階ロビーにテレビモニターを設置してありますので、そちらでご覧いただくことができます。

■委員会の傍聴

・委員会の傍聴の受付は、市役所議会棟2階の議会事務局において、開議時刻の30分前から10分前までに受付簿に記入をお願いします。

・定員は一般の傍聴者は5人で、定員を超える場合には別室においてテレビ放映により委員会の様子をご覧いただくことができます。

市議会だよりに対する皆様のご意見・ご希望（400字以内）をお待ちしています。表紙の発行元に直接または送付願います。



守谷駅にオープンした「TXアベニュー守谷」